

再生医療等に用いる細胞に関連する研究を記載した書類

PRPに関する研究は、近年では主としてPRPの捕捉率を高め、そのサイトカインの放出をいかに効率よくするかという観点とPRPからのサイトカインと組織細胞との相互作用を介して臨床応用法に大きく分けられる。

形成外科、美容外科関連の基礎的研究は主として関西医科大学形成外科グループや聖マリアンナ大学、東京大学などにおいて精力的になされてきている。

植毛手術中に行われるPRPについては、Carlosらが植毛成功率（定着率）や毛髪成長を促すことを臨床試験にて確認しており、形成外科領域で最も権威ある国際学会誌 *Plastic & Reconstructive Surgery* で報告している。

<文献>

- ・ Marxら : Platelet-rich plasma. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radio Endod.* 85: 638-646, 1998.
- ・ 川添剛ほか : 除皺を目的とした自己白血球含有多血小板血漿注入療法の基礎から臨床 日本臨床皮膚外科学会誌. 17:26, 2008.
- ・ 三宅ヨシカズほか : PRPを使用した皮膚潰瘍治療の検討. *日本形成外科学会誌*, 29:65-72, 2009.
- ・ 楠本健司 : PRPの調整原理. 多血小板血漿 (PRP) 療法入門. 14-17, 全日本病院出版会, 2010.
- ・ 菅谷文人ほか : 多血小板療法 (PRP) 療法の研究. *日本形成外科学会基礎学術集会抄録集*. 19:114, 2010.
- ・ 松田秀則ほか : PRP注入療法の実際. *PEPARS*. 75: 146-153, 2013.
- ・ 上野正樹 : 自己PRPを利用した顔面の若返り療法について. *日本美容外科学会誌*, 47: 20-24, 2010.
- ・ 林寛子 : PRP (多血小板血漿) 療法, *PEPARS*, 81: 32-39, 2013.
- ・ 松田秀則ほか : PRP注入療法の実際. *PEPARS*, 75: 146-153, 2013.
- ・ 櫛田哲史ら : シリンジ遠心方式による多血小板血漿 (PRP) 分離キットの検討、第4回PRP療法研究会 2013.
- ・ Priscilla Vら : A study of a combination of gelatin hydrogel and platelet-rich plasma on wound healing in mice. 第4回PRP療法研究会 2013.
- ・ 西本聡 : Platelet-rich fibrinに含まれるサイトカイン量について 第4回PRP療法研究会 2013.
- ・ 井上肇ら : 新たな先進医療制度に於ける第2項先進医療技術としてのPRP療法の今後 第5回PRP療法研究会 2014.
- ・ Hong Kimら : The Comparison between PRP and Yellow PRP. 第5回PRP療法研究会

2015.

- Carlos          : The Role of Platelet Plasma Growth Factors in Male Pattern Baldness Surgery. *Plast Reconst Surg* 118:1458, 2006.
- Jun Araki, Harunosuke Kato          : Optimized Preparation Method of Platelet-Concentrated Plasma and Noncoagulating Platelet-Derived Factor Concentrates: Maximization of Platelet Concentration and Removal of Fibrinogen. *TISSUE ENGINEERING: Part C* Volume 18, Number 3, 2012.